

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、ハローワークに来所する雇用保険受給資格者に対する認定日相談の強化を最重要と考え、特に雇用保険受給者早期再就職件数の目標達成を目指して重点的に進めることとし、早期再就職への意欲喚起や確実な求人情報提供などの取組を行いました。

具体的には支給残日数に応じてゴム印を受給資格者証に押すことにより、認定相談時に就職緊要度の再確認、適格求人の情報提供、雇用保険受給資格者と一緒求人検索するなどの能動的なマッチングを実施しました。また、初回認定日には再就職手当に係るリーフレットを使いながら試算額を示すことや早期再就職のメリットを説明するなど早期再就職を促す取組を実施しました。その結果、早期再就職件数及び早期再就職率は前年度実績を上回り改善されたと考えています。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、求職者に対する問題解決支援サービスの向上を図る観点から、非常勤職員を含む職業紹介部門の全職員を対象に応募書類添削及び模擬面接の指导向上的ための研修を実施しました。また、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準監督署と基準・安定行政の双方の制度理解促進の研修を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

高齢者の求職者が増加している中、前月の就職実績や採用した事業所からの声を掲示することにより、高齢者の就職意欲の喚起を図る取組を積極的に実施しました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者の減少傾向が続くことが予測されることにより、事業所の人材不足が顕著になることから、求人者・求職者マイページの開設及び利用促進に積極的に取組み、オンラインハローワーク紹介や通信紹介を活用しながら求人者支援を図りたいと思います。

(4) その他業務運営についての分析等

若年者の島外就職が著しく、高齢化の進展や人口減少が顕著な地域であることから、若年者の地元企業への就職、地元企業の求人充足支援及びUIJターンの促進のため管内地方自治体と連携・協力してイベントなどの開催を図ります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	生涯現役支援窓口 での 65 歳以上の 就職件数		
令和4年度実績	1,614	1,592	467	76.2%	96.7%	117	31		
令和4年度目標	1,742	1,694	389	90.0%	90.0%	86	28		
目標達成率	92%	93%	120%			136%	110%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率